

そして

うたおう

NO. 205 2022年11月7日発行

<練習予定>	11月.....	7日	14日	21日
	12月.....	12日	19日	26日
	1月.....	9日	16日	23日
<練習曲>	「花に寄せて」 星野富弘/作詞 新実徳英/作曲			
	「Veni, veni Emmanuel」			
	「A Magyarokhoz」			
	「Enek Szent Istvan Kirakyhoz」 ゴルタン・コダーイ作曲			
<練習時間>	月曜日 6時30分～9時00分 〈練習場所〉 崇善公民館			
	練習欠席の際の連絡 男性：鈴木 090・8452・5037			
	女性：梅林 090・4822・7882			
	北村 090・4077・3947			

新入団員紹介

先日入団された清野陽向さんからの自己紹介文です。

◆クラシック、電車の発車メロディーを聞くことが好きで、アコーディオンを弾くことが得意です。

陽向さん、よろしくお願ひいたします。

第50回ひらつか市民合唱祭特別演奏について

日時 2023年(令和5年)3月12日(日) 開演10:30

※2部13:30～16:00に参加予定

※前日リハーサル ⇒ 3月11日(土) 午前・午後・夜間のいずれか

場所 ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール

講師 桑原 妙子先生(合唱指揮者) 栗原 寛先生(歌人、合唱指揮者)

<特別演奏>

今回は、50回を記念しての特別演奏があります。

1. 曲目 ①ハレルヤ ヘンデル「メサイア」39番 ⇒ 混声合唱

②群青 作詞：小田美樹 作曲：信長貴富 ⇒ 女性三部合唱

2. 募集人数

両曲にそれぞれ60名程度

演奏は2部の最後に演奏する予定ですが、参加人数が多い場合は、1部終了後と2部終了後に分けて歌う可能性もあります。

両曲を選んだ場合、一曲のみになる場合もあります。

3.参加条件

- ①ハレルヤは、過去に歌ったことのある方で各自練習が可能な方。
- ②群青は、各団体、あるいは個人で練習が可能な方。

4.楽譜

- ①ハレルヤは各自が用意する。
- ②群青は実行委員会で購入しますが、希望の方は申込書に○を付けてください。

5.合同練習

- ①1月22日 17:30～21:00 中公民館4F小ホール
- ②2月 土曜日・日曜日
※2月の練習日については、後日お知らせがあります。
- ③3月11日(土)の前日リハーサル

6.参加費 無料

7.団内申込締切 11月14日(月) ※次回練習日まで

「花に寄せて」 星野富弘さん

ご存じの方も多いかと思いますが、星野富弘さんのプロフィールを紹介します。

1946年 - 4月24日群馬県勢多郡東村神戸(現・みどり市)に生まれる。

1970年 - 群馬大学教育学部保健体育科を卒業し、高崎市立倉賀野中学校の体育教師になるが、同年6月17日、クラブ活動の指導中の墜落事故で頸髄を損傷、手足の自由を失う。

1972年 - 群馬大学病院入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始める。

1974年 - 病室でキリスト教の洗礼を受ける。

1979年 - 入院中、前橋で最初の作品展を開く。9月に退院し、帰郷。

1981年 - 結婚。雑誌や新聞に詩画作品やエッセイを連載。

1982年 - 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で開かれる詩画展は現在も続いている。

1991年 - 5月12日群馬県勢多郡東村に村立富弘美術館が開館。ブラジル各都市で「花の詩画展」を開催。

1994年 - ニューヨークで「花の詩画展」。

2000年 - ハワイで2度目の「花の詩画展」。

2001年 - サンフランシスコ・ロサンゼルスで「花の詩画展」。

2003年 - ポーランド国立博物館での「バリアフリーアート展」に招待出品。

2005年 - 4月、富弘美術館新館が開館。

2006年 - 5月、熊本県葦北郡芦北町に芦北町立星野富弘美術館が開館。6月、群馬県名誉県民となる。

2010年 - 11月、富弘美術館の入館者が600万人を超える。

2012年 - 第79回NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部課題曲「明日へ続く道」及び「もう一度」を作詞。(『ウィキペディア (Wikipedia)』より)